

## 第2章

時代はクラウド、インターネットで楽チン開発



# mbedウェブ・サイトの使い方

### ● クラウド・コンピューティングで楽チン開発

マイコンのプログラムを開発するには、数百ページに及ぶマニュアルを読破して、数万円もする開発環境を買わなければならない、それが常識のようになっていました。

しかし、mbedの場合はそれらがすべてクラウ

ド上にあり、無料で使用することができます。

また、作ったプログラムやそれに関するメモなどもクラウド上に保存できるので、mbedを持って行けば、インターネットにつながるパソコンがある場所ならどこでも続きを作ることができます(注1)(図1)。



## 2.1 最新情報をキャッチできるメイン・ページ

### ● 英語のページだけどビックリしないで!!!

図2がmbedサイトのメイン・ページです。メイン・ページではmbedの入門ビデオが見られます。そのほかには、mbedの開発者や各ユーザーが更新している最新情報をキャッチできます。

また、ログイン状態では、画面右上が図3のようになります。それでは、画面について説明しましょう。

#### ◆ メイン・ページ(図2, 図3)

##### ① Take the Tour

mbedの魅力とこれから始めるための手順が書いてあります。

##### ② Getting Started

mbedの入門が掲載されているハンドブックへのリンクです。ハンドブックについては2.4節を

参照してください。

##### ③ Get an mbed!

mbed本体を入手できるサイトへのリンク集です。このリンク集はすべて海外のサイトで、日本国内では主に以下で購入することができます。

##### ● スイッチサイエンス

<http://www.switch-science.com/>

##### ● 秋月電子通商

<http://akizukidenshi.com/>

##### ● マルツパーツセンター

<http://www.marutsu.co.jp/>

##### ④ Recent Activity

ユーザーによる更新情報です。

##### ⑤ Recent entries on the mbed blog

mbed開発者ブログの更新情報です。

注1：掲載している情報は2010年8月のものである。mbedのサイトは常に進化しているので配置などが変わる可能性がある。

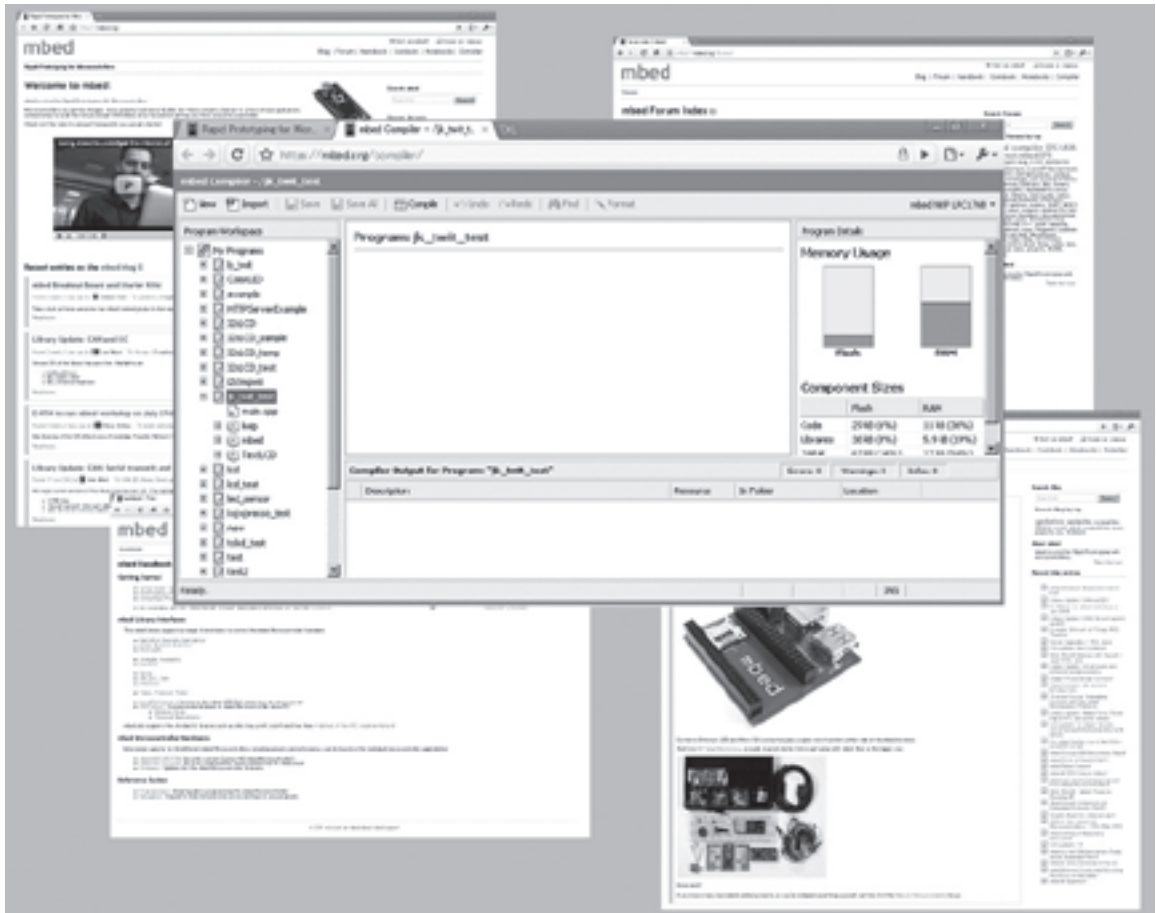


図1 mbedのサイト  
開発環境とともにいろいろな情報が公開され、コミュニケーションも可能になっている。



図3 ログイン状態の画面右上  
登録情報などが変更できるメニューが追加される。

⑥ Login or signup

ここでログイン、もしくは新規ユーザ登録します。

⑦ Blog(ブログ)

mbed開発者達のブログです。mbed関連の最新情報はここをチェックします。詳細は2.2節を参照してください。

⑧ Forum(フォーラム)

トピックスを元に情報交換ができるページです。詳細は2.3節を参照してください。

⑨ Handbook(ハンドブック)

mbed入門のための情報や標準ライブラリのリファレンスが参照できます。詳細は2.4節を参照してください。